

第46回蘇峰会静岡県書道展

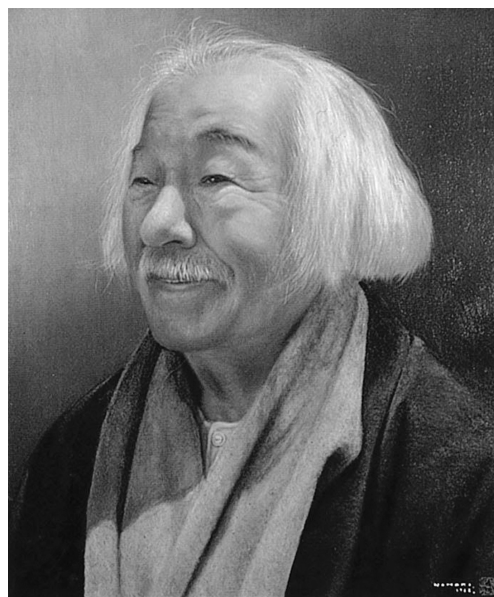
開催要項

本書道展は公益財団法人蘇峰会が徳富蘇峰先生の偉業を顕彰し、あわせて青少年の健全育成を図り、また書道の発展に寄与することを目的に毎年開催しています。徳富蘇峰先生は江戸末期の文久3年(1863)に熊本で生まれ、昭和32年(1957)に95歳でその生涯を終えるまで、明治・大正・昭和の3代にわたってジャーナリスト・歴史家として活躍されました。

その足跡をたどりますと、明治20年に「国民之友」を創刊、同23年には国民新聞社を創立、社長兼主筆として健筆を振るわれました。昭和18年には幾多の功績によって文化勲章を受章されました。

先生の全100巻からなる『近世日本国民史』は不朽の名著です。

先生は静岡県とも深い関わりを持たれており、熱海の晩晴草堂にて天寿を全うされました。その薫陶を受けた方々も多く、その人たちを中心に蘇峰会が結成され今日に至っております。



徳富蘇峰翁

- 主 催／公益財団法人蘇峰会、静岡新聞社・静岡放送
駿府博物館
- 後 援／静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会
静岡県書道連盟
- 展覧会場／静岡市駿河区登呂3-1-1 駿府博物館
- 会 期／令和5年3月14日(火)～3月26日(日)
〈前期：3/14(火)～19(日) 後期：3/21(火)～26(日)〉

〈応募要項〉

(1) 応募資格

園児・小学生・中学生・高校生・大学生・一般で、県内に在住する方

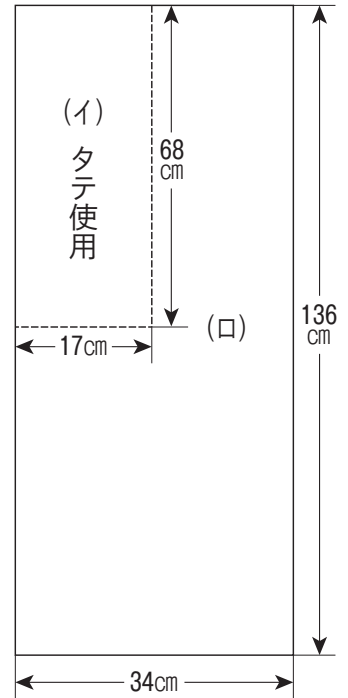
(2) 応募規定

(イ) 園児・小・中・高校生の部

- ①毛筆で一人1点、大きさは半切画仙紙の4分の1
(縦68cm×横17cm)
- ②語句は指定語句に限ります
- ③作品に学年・氏名を記入して下さい
(園児および小1・2年生は名前のみでも可)
- ④出品作品は原則として返却いたしません

(ロ) 一般・大学生の部

- ①毛筆で一人1点、大きさは半切画仙紙(縦136cm×横34cm)
- ②表装・仮表装・裏打ちはしないで下さい
- ③語句は指定語句の中から、自由に選んで下さい
- ④作品に名前(号)、印を必ず入れて下さい
- ⑤作品の返却希望者は、出品票に『返却希望』と明記して下さい
(“着払い”で返送します)



◆共通事項(園児～一般)

- ①代表者は必ず出品票(別紙)を作成し、作品とともに提出して下さい。
個人で出品される場合も同様とします。出品票は蘇峰会ホームページ(<http://www.sohoukai.com>)からダウンロードできます。
 - ②別紙用紙に氏名・住所・学校名・学年等を記入しシールを剥がして作品裏に貼って下さい。受付番号は未記入でお願いします。
別紙用紙(シール式)がない場合は、上記事項をメモ書きして作品裏に糊付けして下さい。
 - ③出品作品の搬入は郵送または宅配便で行って下さい(持参はご遠慮下さい)。
- (ハ) 上記規定外の作品は失格とします
- (ニ) 出品料 ※園児・小・中・高校生 …… 200円
※大学生・一般 …… 500円
- 銀行振込・郵便小為替(無記名でお願いします)・現金書留にて納入して下さい。
切手での納入はお断りします。
- 振込先 静岡銀行 登呂支店(普通) 0548378
公益財団法人 蘇峰会
- (ホ) 募集受付期間 令和5年1月14日(土)～20日(金)(当日消印有効)
- (ヘ) 応募先(問い合わせ先)

〒422-8033 静岡市駿河区登呂3-1-1

蘇峰会静岡県書道展事務局 ☎054-284-9011 (平日10:00～17:00)

(3) 審 査

審査は静岡県書道連盟に委嘱します

(4) 入賞発表

令和5年2月下旬 静岡新聞朝刊紙上で発表します
(ただし、優秀賞は後日、記念品の発送をもって発表に代えさせていただきます)

(5) 表彰式

令和5年3月19日(日) 静岡新聞放送会館18階「蘇峰ホール」
(場所は静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡新聞社)
※表彰式への出席は、会場の関係で奨励賞以上の方に限定します

(6) 賞

徳富蘇峰賞	6点
静岡県知事賞	1点
静岡市長賞	1点
静岡県教育委員会教育長賞	3点
静岡市教育長賞	3点
蘇峰会賞	5点
静岡新聞社・静岡放送社長賞	5点
駿府博物館長賞	5点
静岡県書道連盟会長賞	5点
静岡県書道連盟賞	7点
審査委員会賞	7点
奨励賞	7点
優秀賞	全作品の10%相当

※出品者全員に参加賞をさしあげます

第46回蘇峰会静岡県書道展 「指定語句」

▽園児……………よいこ

▽小学生(楷書)

1年生……………えがお

2年生……………ぬくもり

3年生……………思いやり

4年生……………明るい声

5年生……………温かな心

6年生……………出発の春

▽中学生(行書)

1年生……………共に生きる

2年生……………信じて進む

3年生……………将来を語る

(小・中学生指定語句は静岡県出版文化会選定)

▽高校生(書体自由)

哀鴻遍地

【読み】 あいこうへんち

【意味】 戦に敗れた兵士や行く場を失った難民があち
らこちらに溢れている様子。

▽一般(書体自由)

①君ならで誰にか見せむ梅の花色をも香をも知る人
ぞ知る(紀友則)

②ふく風も心あるらし池の面はさざなみたちて花吹
雪する(徳富蘇峰)

③千戈満四海 世事徒紛紛

一笑言蓮岳 相知我與君(徳富蘇峰)

【意味】 あちらでもこちらでも世界のどこかで争いごと
とが絶えないし、世間でもいたずらに細かく面倒な事
件が多い。一笑いして私は富士山に話しかける。お互
い真の知己として許せるのは私と君だけだね。

④莫説光陰去不還 少年情景在詩篇

燈痕酒影春宵夢 一度謳吟一宛然(袁枚)

【意味】 光陰は過ぎさつて還らないなどと言うのはよ
そう。若かった日々の情景はあのころの詩の中に残っ
ている。燃え尽きた灯の後も、杯にたたえた酒の影も、
そして春の宵の夢さえも一たび詩を吟ずれば、ほら
そっくりそのまま目の前に浮かんでくるではないか。